



みんなのひとみ輝き笑顔あふれる明小学校

避難訓練を行いました

2月3日(火)に、緊急地震速報を使った避難訓練を行いました。今回は時間を児童には伝えず、休み時間、教員がそばにいない場合、どうすれば安全に、かつ早く運動場中央に避難できるかを子どもたちが体験しました。運動場でサッカーをしていた児童は、放送を聞くとすぐに頭を抱えてダンゴムシのポーズになりました。校舎内から出てくる児童の中には、防災頭巾をかぶっている児童もいました。ただ残念なことに「訓練だから…」といった感じで、真剣に取り組めていなかった児童も少しですがいました。



2026年は、甚大な被害が発生した昭和南海地震の発生から80年となります。前回の南海トラフ地震(1944年・昭和東南海地震、1946年・昭和南海地震)から80年を過ぎた現在では、次の南海トラフ地震の発生率が非常に高い状態だそうです。自分の命、大切な人の命を守るために、今から準備をしておきたいものです。

椎茸の菌打ちをしました



1月29日(木)、3・4年生の児童が、いきいき支援の会明の森チームの方に教えていただきながら、椎茸の菌打ちをしました。当日は雪が舞い散るとても寒い日でしたが、子どもたちは真剣に話を聞いていました。菌打ちの説明を聞いた後、実際にドリルを使って原木に穴を開けました。4年生は2度目の菌打ちになります。大きな音に最初はこわごわドリルを使っていた3年生の児童も、しばらくすると慣れてきて、上手に穴を開けていました。

椎茸の収穫まで2年かかるそうですが、立派な椎茸が収穫できることを願います。支援の会の皆様には、いつもお世話になりありがとうございます。

インプット、アウトプットって？

「インプットとアウトプットが大事」「アウトプット型の学習を取り入れよう」などの言葉を聞いた方は多いのではないでしょうか?「インプット」は日本語で「入力」、「アウトプット」は「出力」を意味します。授業の中では教科書を読む、黒板を写す、友だちの話を聞くなどがインプットになります。ひと昔前はこのインプットの授業が多く行われていました。インプットも大切なのですが、覚えたことも時間がたつと忘れるもの。学んだこと、覚えたことを「人に説明する」、「自分の言葉でまとめる」「問題を解く」などのアウトプットすることで、記憶が定着すると言われています。お時間がありましたら、ご家庭でお子様がアウトプットする時間を作っていただけると幸いです。

